

No	項目	今年度の重点	具体的方策・評価指標等	達成状況	達成度	課題及び改善策
3	相談や支援を受けられる 頼りになる学校	①公開研究会の開催を広報し、校外の方々から意見をいただく機会を設けます。	○授業研究会・公開研究会を計画・実施する。	○1月に公開研究会を実施、外部から8名が参加している。(研)	A 教9 A 保6 教6	①公開研究会の開催時期は、外部から参加しやすく、授業実践に活かすために2学期実施とする。(研) ②発達検査の研修会を2月に実施予定。(相)
		②県や山形市の教育支援に協力し、障がいのある子どもの教育相談を担当します。	○保護者や児童生徒への対応の仕方、各種発達検査などについて研修を行う。(相)	○就学相談に係る教育相談に向けて、保護者や児童生徒への対応の仕方や聞き取り内容、報告書の書き方等、部内で確認し共通理解のもと相談にあたることができた。(相)		③事前検討会は継続する。相談の資料が届くのが遅くなり紙面での検討会もあった。(相)
		③要請のある学校の指導支援等に積極的に対応します。	○事前検討会を充実させる。(相)	○事前の検討会や資料を回覧し部内で検討した上で巡回相談を行うことができた。(相)		④学校の活動がより分かりやすいホームページになるように、文字だけでなく写真掲載をしていくように検討していく。(情) ・他校や地域との交流の様子をお便り等で伝えていくようにする。(小) ・山豊、城山太鼓、南山形地区の文化祭参加等、交流の目的を明確にして実施していく。(高) ・授業参観は参観週間以外の日も希望に応じて可能であることを機会を捉えて伝えていく。(小)
		④学校公開や学習発表会、交流学習やホームページを通して本校の情報を発信します。	○分校と連携を図りながら、ホームページで学校の情報を発信する。(情) ○PTA便りを2ページ増やし児童生徒やPTAの活動記事を充実させ地域へ情報発信していく。(総) ＜学校評議員会より＞ ・高等部生徒が12月に地域のコミュニティセンターの掃除をしてくれた。地域の方々が、村山特別支援学校の理解を深める上で意義があった。 ・特別支援学校との交流は、地区文化祭への出品や出展、出演がある。毎年、出演に感動している。是非、継続してお願いしたい。 ・特別支援学校の理解を深めるために、どのようなことができるかを考えている。	○学校公開研究会等の案内、校長室便り、学校要覧の基本的な情報などについてホームページの更新がスムーズに行われた。(情) ○山形校、天童校の内容を充実して発行することができた。(教)		
		保護者6：授業参観、各種行事、学校公開による情報発信94.1%△ 教員6：授業参観、各種行事等の情報発信86%▼ 教員：センター的機能90%▼				
4	働きやすい やりがいのある学校	①昨年度開校した2つの分校との定期的な情報交換の場を設け、共同で交流活動に取り組みます。	○山形豊学校、分校と適宜連絡・調整を行い、共有施設の有効活用、交流学習や行事等の計画を行う。(教)	○分校との教務主任会、小学部主任会を行い課題について共通理解、調整を行うことができた。 ○運動会、修学旅行、宿泊学習等では、合同練習や事前学習を含めて、担任同士で連携を図り充実した交流ができた。(小)	A 教13 B 教11 教14 保7 教10	①早めに交流について話し合う機会を設け、交流活動の内容を吟味したり、業務の分担をしたりしていく。(小) ・直接的な交流のみでなく、各校での活動を紹介し合うような掲示や手紙などでの間接的な交流も検討していく。(小)
		②二校連絡会を通して山形豊学校との連携を密にします。	○	○月1回山豊との連絡会、適宜連絡を取り合い調整を図ることができた。(教)		③月2回の週末で来年度も設定する。教務が主体となり呼びかける。(教) ・定時退校日には学部での声掛けを継続する。(高) ・職員会議は議題を精選しながら毎月実施する。(教) ・朝の打ち合わせや回覧で済む事項と学部会で扱う事項を振り分け、紙上報告等工夫する。(中) ・チーム検討会は年間を通して見通しがもてるような設定、時間の確保ができるようにする。(高)
		③月2回の「定時退校日」の確実な実施に取り組みます。併せて、会議の持ち方等についても検討を継続し、子どもや授業のために使う時間の創出に努めます。	○情報機器利用の情報提供を進め、活用できる体制を整える。(情) ○月2回の定時退校日を設け、確実に実施する。(教) ＜学校評議員会より＞ ・先生方が元気であることが良い。昨年、月1回の定時退校日を今年度月2回にした取組みは良いと思う。実効性のあるものしていただきたい。	○情報便りを発行し、情報機器に対する理解や情報セキュリティに対する意識の向上を図るようにした。(情) ○学部会での生徒理解の時間は紙面を使って連絡を行い効率化が図られた。(高)		
		保護者7：教員は明るく元気98%△ 教員11：ゆとりづくり 65%▼ 教員10：職員間の連帯感90%△ 教員13：交流や連携83% 教員14：定時退校日82%▼				